

4400  
12

類別	F020	係別	3	20	永
期別		發付迄		完結迄	永
係				任	

書類

昭和八年一月二十四日起案

8.2.15  
136

(提案艦政本部長)

大臣

次官

副官

書記官

第三部長

第四部長

總務部長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

昭和八年二月二十三日

訓令案

海軍大臣

提鎮長官宛

補助航空母艦制衣造予算増額件訓令

官房機密第三七號

軍令	艦政	航空	法務	建築	経	海軍	教育	人事	軍務	局	部

主務局、部  
取扱者捺印

發付後起  
案者捺印

大臣官房  
8.2.24  
記録

8.2.17  
受様

四本艦  
8.2.2

8.2.15  
受様

8.2.15

昭和四年官房機密第六九號訓令本艦製造予算ヲ別紙通改正ス

(別紙一葉添付)

(終)

注

旨



支 出 科 目	工 事 名 称	前 刻 令 額	増 額		内 容
			改 訂 額	類 額	
豫算總類 補助航空母艦一隻建造 艦艇製造費補助艦艇製造費特務艦艇造船費水上機母艦	豫算總類 補助航空母艦一隻建造 艦艇製造費補助艦艇製造費特務艦艇造船費水上機母艦	九三六三五〇〇	一〇〇〇三、七〇〇	一〇、三六八、二〇〇	船体費 六、九二二、〇〇〇
		一〇〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇	一、四二〇、〇〇〇	機関費 八〇〇、〇〇〇
		三九〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	備品費 八〇〇、〇〇〇
		四四六三五〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	
		〇	一、五〇〇、〇〇〇	三、四二六、〇〇〇	
		〇	七六〇、五〇〇	六、九二二、〇〇〇	
		〇	五〇、〇〇〇	六、三三三、〇〇〇	
		〇		六、九二二、〇〇〇	

豫算書

英漢中葉十三行譯紙

海軍

附錄紙

昭和八年  
貴印  
四部

度

紙 箋 附

昭和8年1月27日 海軍艦政本部第三部  
 貴印圖係一ツ紙印記アリ得被  
 四部 出中 (其紙類ノ補差)

2200

艦政本部

二月

昭和四年五月廿九日附官房機密第六九九號ヲ以テ本艦製造訓令ヲ受ケ工事  
進捗中ノ處昭和五年七月十二日附艦本機密第二四一七號ヲ以テ上甲板以上  
ノ工事見合セノ命ヲ受ケ引續キ別紙ノ通り改造方通牒アリ本艦上甲板以上  
ノ構造及之レニ伴フ機装工事並ニ「バルヂ」新設等ノ大改装ヲ加ヘラレ候  
ニ就テハ訓令發付當初ノ訓令豫算額ヲ以テシテハ到底本艦ノ完成ヲ期シ難  
キニ付左記ノ通り訓令豫算額改訂方御認許相成度

記

總務部長

補助航空母艦船體製造費豫算増額ノ件具申

第三部長

昭和四年五月廿九日附官房機密第六九九號ヲ以テ本艦製造訓令ヲ受ケ工事

進捗中ノ處昭和五年七月十二日附艦本機密第二四一七號ヲ以テ上甲板以上

ノ工事見合セノ命ヲ受ケ引續キ別紙ノ通り改造方通牒アリ本艦上甲板以上

ノ構造及之レニ伴フ機装工事並ニ「バルヂ」新設等ノ大改装ヲ加ヘラレ候

ニ就テハ訓令發付當初ノ訓令豫算額ヲ以テシテハ到底本艦ノ完成ヲ期シ難

キニ付左記ノ通り訓令豫算額改訂方御認許相成度

昭和海軍省機密第六九九號  
日進達  
海軍大臣 殿  
第一部長  
第二部長  
第三部長  
第四部長  
第五部長  
第六部長  
第七部長  
第八部長  
第九部長  
第十部長

横須賀海軍工廠長

山本 官房長

海軍

司令官

副司令官

參謀長

副官

參謀

艦政本部  
8.1.24  
1177

8.1.24  
5197

1289

海軍

既訓令額（船体）

五、七三七、三〇〇

圓

増額

七〇四、一八三

訓令改訂額

六、四四一、四八三

別紙

航空母艦龍驤工事名稱概要

大正

訓令豫算増額要求理由

添付

(了)

航空母艦龍驤大改装工事名稱概要

造船部

海軍

訓令番號	圖面名稱	記
昭和四年十一月二十六日 艦本機密第四一五七號	一般機裝圖	中下甲板諸室隔壁大改正
昭和五年七月十一日 艦本機密第五一八四二號	" (昭和五年三月現在)	揚彈藥筒 揚爆彈筒一部改正等
昭和六年四月二日 艦本機密第六一三三一號	一般機裝圖 (大改正)	最上甲板、第三最上甲板増設、中甲板諸室隔壁改正
昭和六年六月十七日 艦本機密第六一七五五號	新設バルヂ最大中央形狀船体寸法及線圖説明圖	バルヂ新設
昭和六年七月七日 艦本機密第六一八五九號	一般機裝圖 (大改正後) 一部改正 (第一回)	探照灯格納位置改正、後部左舷梯新設、野榮冷蔵庫新設、最上甲板兵員室改正、後部リフト後端機室新設、基地用軽質油
昭和六年九月十四日 艦本機密第六一五五五號	" (第二回)	最上甲板諸室及上甲板諸室新設並改正、
昭和六年十二月二日 艦本機密第六一七五五號	" (第三回)	上甲板舷側通路改正、後部右舷梯新設
昭和七年一月二十一日 艦本機密第六一七五五號	自然通風裝置 (第三最上甲板及上甲板平面)	發着甲板一部擴大高角砲甲板諸室及隔壁並第一作業員控所改正、正消毒室等改正、前橋位置變更、空母機庫及第一作業員控所増設
昭和七年二月四日 艦本機密第六一七五五號	艦橋附近一般機裝圖	左舷中央上甲板、高角砲甲板間ニ梯子及ラツト新設、基地用輕質油庫ニ中段ラツト新設
昭和七年三月十七日 艦本機密第六一八二八號	側面遮風柵裝置大體圖並一般機裝圖一部改正	作業員控所等改正

昭和七年八月一日 艦本機密第三二七九號	一般機裝圖（大改正後） 一部改正（第四回）	最上甲板、下甲板分電路室新設 定員變更ノタメ最上甲板諸室兵員室及上甲板下甲板諸室改正
昭和七年九月一日 艦本機密第三〇三六號	爆彈庫等改正	前部爆彈庫水雷火藥庫火工兵器庫及黑色火藥庫等改正 後部爆彈庫及前後部四十耗機銃彈藥庫等新設
昭和七年十月二十六日 艦本機密第七九六號	飛行機制動機室新設圖	
昭和七年十一月十四日 艦本機密第八〇九號	一般機裝圖（昭和七年九月一日現在）	
昭和七年十二月十九日 艦本機密第七ノ三三號	武式二米半測距儀（増設）裝備圖	

海軍



航空母艦訓令豫算増額要求理由

昭和四年以降通牒其他ニヨル本艦大改装工事名稱ハ別紙概要ノ通りニシテ之レニ依ル搭載重量増加及之レニ要スル經費概算左記ノ通りニ付訓令額増額ヲ要ス

記

工事區分	増加重量	工費	材料費	附屬費	合計
船殼工事	四九五	六八〇六二	九六〇〇〇	四九四五〇	二一六五一五
バルヂ新設	九五	一六六四五	一九〇〇〇	一三三〇〇	四八九二五
機装工事	三六	一九五〇〇	三三八〇〇	一五六〇〇	六八九〇〇
航空ニ關スル機装	一七六	一一〇〇〇〇	一一五四六六	八三〇〇〇	三〇八四六六
右工事ニ伴フ製圖其他		二九七〇〇	七九二〇	二五七六〇	六〇一三八〇
合計	七九二	二四四八八七	二七五一八六	一八五一一〇	七〇四一八三

285

8800

編 號	F022	保 期	3	20	水
期 限		機 期	發付迄	完結迄	水
保 種		機 種		本	

綴書類

昭和八年九月二日起案  
起案者 捺印

8.11.9 接

8.10.16 二編

8.10.7 艦四部

8.10.6 艦四部

8.10.16 艦本接受  
882

昭和八年拾月廿六日發給  
發付者 捺印  
發付後起案者 捺印

起案野紙(甲)  
主務局部  
取扱者捺印

8.10.16

(提案) 艦政本部長

大臣

閣次官

副官

書記官

書記官

經理局長

軍務局長

訓令

昭和八年四月十五日

横鎮長官宛

軍艦製造豫算増額一件訓令

番号  
官房機密第三六號

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	事務	教育	軍務	官房	局部

大臣官房  
8.10.26

8.10.16

8.10.8

昭和四年官房廠客船六九九號訓令本艦製造豫算ノ別紙ノ通改正ス (別紙一葉作)			
	船体	機関	
七年度	八年度	九年度	
旧別紙 二七〇,〇〇〇	新二二〇,〇〇〇	旧二二〇,〇〇〇	新二二〇,〇〇〇
増減 Δ 九八,〇〇〇	九八,〇〇〇	—	
湯上工事 ノ不足増額	一七〇,〇〇〇	旧二 三〇,〇〇〇	
改訂額 二七〇,〇〇〇	八八〇,〇〇〇	改訂額 二五〇,〇〇〇	

5800

納 税 関 係	F0	保 期	3	20	永
		機 期	發付迄 ( )	完結迄 ( )	永
		機 種			

馬  
込  
永  
年  
記  
御  
旨

2800

9800

係	種	期	機
係	種	期	機
係	種	期	機

昭和五年三月九日

海軍軍令部第一班

本訓令は主力艦全般に亘り近代化実施予  
 定決定後発布スル迄与トスモ本年年度予  
 算消化ノ關係上急テ要スルテ不取本  
 訓令ヲ發布シ最近世限決定スルテ要スル主力艦  
 船隻之近代化実施予定ノ先後ニ亘リテ要  
 スル本訓令ノ内容ヲ要更シ是モ本訓令  
 製時ニモ之ヲモノナシテ修正ハナシテ  
 尙シ無政者ト了解セ

番号  
官房機密第一三番電報

佐吉保海軍工廠(舞鶴)要港部工作部(ヲレテ)一等驅逐艦一隻左記

昭和五年二月十三日  
 臨時海軍大臣事務管理  
 佐鏑長官(舞要司令官)宛  
 電報訓令案(略)

二月十三日 午後五時〇分發電

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	事務	房	局部
											受月日 發月日

日發付  
發付掛  
捺印  
主務局部  
取扱者捺印  
發付後起  
案者捺印

4800

9800

類

昭和五年二月十三日起案

起案者 捺印

月

日

發付 捺印

發付後起案者捺印

主務局、部取扱者捺印

起案紙(甲)

臨時海軍大臣事務管理

(提案)

艦政本部長

小林

第三部長

瀧

大臣

次官

書記官

副官

官

官

官

官

官

官

官

官

官

官

官

官

官

政務官

局長

加藤

第一課長

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

軍務局長

加藤

第一課長

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

加藤

電報訓令案

昭和五年二月十三日

臨時海軍大臣事務管理

佐銑長官(兼要司令官)宛

佐吉保海軍工廠(舞鶴)要港部工作部(ラシテ)一等驅逐艦一隻左記

官房機密第一三番電報

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	事務	房	局、部	受月日	發月日

二 據リ製造セシムヘシ

記

一 工事要領

要領書送、面通ノ通(伝送ス)

一 完成時期

昭和七年三月末日

一 費目

艦艇製造費補助艦艇製造費 驅逐艦 造船費(第55号) 驅逐艦

(第55号) 驅逐艦 支辨トス

(終)